

## 第 44 回 教育研究評議会 議事要録

日 時 平成 23 年 6 月 27 日 ( 月 ) 13 : 30 ~  
場 所 事務局会議室 ( 5 階 )  
出席者 相良学長、櫻井理事 ( 総務担当 )、深見理事 ( 教育担当 )、小槻理事 ( 研究担当 )、渡邊理事 ( 財務担当 )、曳地副学長、菅沼副学長、本家副学長、受田副学長、岩崎副学長、小澤人文学部長、遠藤教育学部長、逸見理学部長、脇口医学部長、川合農学部長、尾原大学院看護学専攻長、奥田大学院黒潮圏総合科学専攻長、吉尾人文社会科学系長、川村自然科学系長、橋本医療学系長、上田総合科学系長、辻田共通教育主管、岩崎センター連絡調整会議議長、渡邊海洋コア総合研究センター長、杉浦医学部附属病院長、中森評議員、内田評議員、大坪評議員、桜評議員、八木評議員  
陪 席 益田監事

### 〔配付資料〕

- 資料 1-1 平成 22 事業年度に係る業務の実績に関する報告書 ( 案 )  
1-2 平成 22 年度 年度計画進捗状況一覧表 ( 最終 )  
1-3 平成 22 年度 年度計画進捗状況報告書 ( 最終 )  
資料 2 国立大学法人高知大学の中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果の要点  
資料 3-1 国際・地域連携センター地域連携・再生部門の設置 ( 案 )  
3-2 国際・地域連携センターにおける委員会等  
3-3 高知大学国際・地域連携センター規則等の一部を改正について  
3-4 高知大学国際・地域連携センター規則の一部を改正する規則等新旧対照表 ( 案 )  
資料 4 平成 22 年度学部卒業生・大学院修了者就職等進路状況表  
資料 5 規則の制定等に関する報告  
机上配付資料 1 高知大学土佐さがけプログラムの組織体制 ( 案 ) 及び委員会組織 ( 案 )  
机上配付資料 2-1 国立大学の機能強化-国民への約束-【中間まとめ】(案)  
2-2 機能強化のための方策の事例(案)

議事に先立ち、新たに評議員となった岩崎副学長の紹介、挨拶が行われた後、第 43 回教育研究評議会議事要録 ( 案 ) の確認が行われ、異議なく承認された。

### 〔議題〕

- 1 . 平成 22 事業年度に係る業務の実績に関する報告書について  
櫻井理事から、資料 1 - 1 ~ 1 - 3 に基づき、平成 22 事業年度に係る業務の実績に関する報告書について、全学的な状況を主として説明が行われ、平成 23 年 6 月 28 日開催の第 153 回役員会の議を経て文部科学省へ提出することが、承認された。  
なお、資料 1 - 1 について意見等がある場合は、6 月 28 日を期限として対応を行っていく旨の補足説明が行われた。
- 2 . 第 1 期中期目標期間の業務の実績に関する評価結果について

櫻井理事から、資料2に基づき、第1期中期目標期間の業務の実績に関する評価結果について、中間評価から変更された事項を主として報告が行われた。

### 3. 国際・地域連携センター部門の改編等について

受田副学長から、資料3-1~3-4に基づき、国際・地域連携センター部門の改編等について、第2期中期目標・中期計画に掲げる「地域再生部門(仮称)」の設置に関し、生涯学習の機能と産学官民連携の地方自治体及び地域住民との連携業務を融合し、自治体との連携をより強化し、地域の中核となる人材育成に寄与することで地域の活性化に貢献することを目的とし、「生涯学習部門」を「地域連携・再生部門」に、「産学官民連携部門」を「産学官連携部門」に改編することが報告された。

併せて、国際・地域連携センターの運営体制の見直し等に伴う規則改正について説明が行われた。

また、受田副学長から、国際・地域連携センターの日々の様々な取り組み・活動を学内外に知らせるため、「ニュースレター」としてメール配信を今月から開始予定である旨の報告が行われた。

### 4. 平成22年度学部卒業者・大学院修了者就職等進路状況について

深見理事から、資料4に基づき、平成23年5月1日現在の本学の平成22年度学部卒業者・大学院修了者就職等進路状況について、報告が行われた。

### 5. 規則の制定等について

櫻井理事から、資料6に基づき、国立大学法人高知大学における規則等の取扱基準に関する規則により、学長決裁で制定した規則について報告が行われた。

### 6. その他

- ・深見理事から、机上配付資料1に基づき、平成24年度から開設する高知大学土佐さきがけプログラムについて、平成23年6月20日開催の全学教育機構会議で承認された組織体制(案)及び委員会組織(案)並びに本体制のプログラム運営委員会に準じた運営を行う準備委員会を全学教育機構長の下に立ち上げ、機能させることについて報告が行われた。

また、深見理事から、学則等の改正が行われた後、あらためて高知大学土佐さきがけプログラムの組織体制及び(各コース実施)委員会組織について、本評議会において審議する予定である旨の説明がされた。

なお、評議員から、コースの運営について質問がなされ、深見理事より、各コースについては、学部の運営とは別にプログラム運営委員会が運営を行っていく旨の回答が行われた。

- ・学長から、机上配付資料2-1、2-2に基づき、平成23年6月22日に開催された一般社団法人国立大学協会平成23年度第1回通常総会において審議・承認された「国立大学の機能強化-国民への約束-【中間まとめ】」について説明が行われた。
- ・学長から、平成23年5月27日午前開催された四国国立大学協議会において、震災対策に関する大学間連携について、東南海、南海地震が発生した際における四国地区国立大学間の支援体制について提案を行った旨の報告がなされた。併せて、同日午後開催された中国・四国地区国立大学長会議においても提案を行い、中国・四国地区における大規模災害時の連

携・協力体制を示したケーススタディーを作成することとし、高知大学が中心となり四国地区のたたき台を9月までに事務レベルで作成し、中国地区に提案予定である旨の報告が行われた。

- ・評議員から、平成24年度大学入試センター試験における「地理歴史」、「公民」及び「理科」の成績の利用方法について質問がなされ、学長より、国立大学協会としては、「第1解答科目」の得点を採用する方向で検討頂きたいとの要請がなされている旨の説明がなされた後、深見理事から、6月28日に臨時入試企画実施機構会議を開催し、本学の対応を検討する予定である旨の説明が行われた。

以 上